

## TNW-242F2

CISPR 適合品 / 9kHz~30MHz

TNW-242F2 は、CISPR (国際無線障害特別委員会) 等に適合した周波数範囲 9kHz ~ 30MHz において妨害源から電源供給線に漏洩する妨害電圧を測定する場合に使用する擬似電源回路網です。

なお、弊社の妨害波強度測定器 (TNM-2401 および TNM-2402) に、本器の補正係数を登録することにより、キー操作により自動加算が可能で妨害電圧の直読測定ができます。



### 仕様

項目	型名	TNW-242F2
周波数範囲		9kHz ~ 30MHz
該当規格		CISPR16、VCCI
測定線路相数		単相
測定線路インピーダンス		50 Ω
測定端子		50 Ω (BNC 形コネクタ)
電源線路定格		AC/DC 125V、15A
最大定格		AC/DC 250V、15A
付属品		同軸ケーブル (BNCP-3D2W-BNCP、2 m) . . . . . 1 交流電源ケーブル (3 m) . . . . . 1
寸法・重量		300(W)×130(H)×160(D)mm、約 4.5kg
使用できる妨害波強度測定器		TNM-2401、TNM-2402 (※)

※旧協立電子工業製の妨害波強度測定器の KNM-2401、KNM-2402、KNM-2403 または KNM-S243 もご使用いただけます。

オプション	
	ハイパスフィルタ TFL-007、TFL-007D
	固定減衰器 TPD-402 (50 Ω 10dB)

### 使用上の注意事項

- 漏洩電流ブレーカーが設置している電源線で使用するとブレーカーが作動することがあります。  
AC100V、50 / 60Hz、400mA の漏洩電流が流れます。  
**【対策】**
  - ①絶縁トランスを使用する。
  - ②ブレーカーが設置されていない電源線を使用する。
- 測定線路を切り換えるとパルスが発生します。  
スペクトラムアナライザと組合せ使用するとスペクトラムアナライザの入力回路が破損する恐れがあります。  
**【対策】**
  - ①ハイパスフィルタ TFL-007 または TFL-007D を使用する。
  - ②同軸ケーブルを外してから切り換える。
  - ③ CISPR 規格の要求で、測定器の測定端子を 50 Ω に整合させるために、10dB の減衰器を擬似電源回路網の内部か外部に挿入することを求めています。この機種は外付け対応になります。